

平成 30 年度 長野県地方税滞納整理機構に
おける温室効果ガス排出等の実績について

1 温室効果ガス排出量

平成 30 年度の本機構における各温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）は 36,234kg でした。基準年度である平成 28 年度と比較して 6.7%の減少となり、平成 30 年度は総排出量の目標値である 5%減を達成しました。令和 3 年度までの現計画期間において、引き続き実行計画を推進します。

詳細な内訳等については下表のとおりです。

温室効果ガスの種類	排出要因	活動量	温室効果ガス排出量		28 年度比
			(kg-co2)		
			30 年度	28 年度	
二酸化炭素 (CO2)	電気の使用	31,072kwh	15,101	16,344	▲7.6%
	都市ガスの使用	3,083 m ³	6,659	6,236	6.8%
	自動車の走行 (ガソリン)	5,893ℓ	13,672	15,383	▲11.1%
メタン (CH4)	自動車の走行	86,446 km	25	29	▲12.5%
一酸化二窒素 (N2O)	自動車の走行		720	805	▲10.5%
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	カーエアコンの冷媒	4 台	57	57	0.0%
総 排 出 量			36,234	38,854	▲6.7%

2 その他の目標

その他の目標として(1)環境物品等の調達、(2)コピー用紙の削減を掲げておりますが、実行計画では具体的な数値を設定しておりません。

しかし、グリーン購入法適合商品の積極的な物品の購入及びコピー用紙の削減に努めました。

3 具体的な取組項目

平成 30 年度に実践した具体的な項目

(1) 電気使用量の削減への取組

始業時前、昼休み時、残業時に不要な個所の照明をこまめに消灯しました。
○A機器の省電力機能を使用しました。
その他の取組として毎週金曜日のノー残業デーを徹底しました。

(2) 燃料使用量の削減への取組

公用車の適正使用として走行ルートの確認、相乗り及び交通情報の収集に努め、効率的な運行を図りました。また、エコドライブの実践にも努めました。
クールビズ及びウォームビズを実践し、冷暖房機器の適正な使用を図りました。

(3) 環境保全に対する取組

使用済の紙類、空き缶、空き瓶及びペットボトルのリサイクルを徹底し、廃棄物の減量及びリサイクルを推進しました。

環境物品等の購入では、グリーン購入法適合商品の積極的な購入に努めるとともにコピー用紙は、古紙は配合 70%、白色度 70%程度の再生紙を購入しました。

用紙使用の削減とし、両面印刷及び両面コピーに努めるとともに古紙の利用を図りました。

資源の節約としてマイ箸、マイコップの使用を職員に促しました。

3 温室効果ガス排出量の減少について

平成 30 年度の本機構における温室効果ガスの排出量については、基準年度である平成 28 年度と比較して 6.7%減となり、令和 3 年度までの削減目標である 5%減を達成しました。

主な要因は、電気及びガソリンの使用量の削減によるものです。

一方で、都市ガスの使用量が増加しています。

電気については、事務室等の照明や○A機器等に、都市ガスは、冷暖房の熱源として使用されております。

それらの使用量は、当機構が長野県千曲庁舎の一部を事務室等として使用していることから使用面積の按分により算出しております。

当機構としては、職員の節電意識をより高め、冷暖房機器の適切管理のため、クールビズ及びウォームビズを徹底してまいります。

なお、公用車のガソリンの使用量は平成 28 年度より減少しておりますが、機構の業務が県内の広域範囲となっていることから継続して削減することが難しい面もあります。今後も公用車の適正管理、エコドライブを実践することで使用量の抑制に努めてまいります。